

第 2 回「工学部学友会」理事会 議事録

(第 71 回「彦機会」最終幹事会)

立春が過ぎたとはいえ、まだまだ寒さの厳しい中、県大の先生をパナソニックリゾート大阪までお招きして、第 2 回理事会を開催しました。同時に今回は平成 9 年より約 15 年間続いた彦機会の最後の記念幹事会を兼ねました。

日 時：平成 24 年 2 月 12 日（日）10：00～15：00

場 所：パナソニックリゾート大阪 会議室

出席者：県大工学部 菊地教授、安田教授

立入会長、国領・林（正）副会長、藤田・内片・山添・松下・長谷・若林・平野・吉田各理事、西澤・奥村顧問〔出席者 15 名、欠席者 8 名〕

議事内容：議長 立入会長、（補佐 国領副会長）

配布資料：第 2 回湖風会「工学部学友会」出席者リスト

平成 23 年度活動実績、平成 24 年度活動計画（案）

工学部学友会の事業担当内容

同窓会館説明図、「湖風会報」発刊概略報告

名簿管理チーム打合せの記録（H24 年 1 月）

「工学部学友会」役員連絡網

「工学部学友会」HP について（案）

- 1、 立入会長の挨拶及び役員紹介・・・立入会長
立入会長の挨拶と出席者 15 名を紹介。
- 2、 湖風会「工学部学友会」の事業内容（担当）について（再確認）・・・国領副会長
「工学部学友会の事業担当内容」に基づき説明。
卒業会員の大学訪問の際については、県大工学部としての対応を要望した。
- 3、 滋賀県立大学工学部支援会並びに振興基金についての説明・・・滋賀県立大学
工学部 菊地教授、安田教授
配布された工業部支援会資料に沿って説明、概要は以下の通り：安田教授
 - ① H22 年、H23 年の事業報告
主な実施事業
 - 1) 総会：会員企業との交流(H22 年-63 名、H23 年-52 名参加)
 - 2) 工学部研究交流会：会員企業 H22-8 社、H23-6 社が出席
共同開発を念頭に入れ、3 学科より各 2 分野(6 テーマ)を発表
 - 3) 支援会企業への工場見学会：H22・23 年に各 4 社訪問
 - 4) 工学部支援会企業研究会
 - ・OB・学生交流会：学生-40 名強、OB-20 名程度出席
会社ビジョン、面接の受け方、求める人材等活発な意見交換あり
 - ・会員交流会：企業 20 名前後、教員 20 名強の参加
 - ② 就職状況：就職希望者のほぼ 100%が就職(不就職：過去 1 名程度)
2007 年度からの各学科就職先詳細一覧：配布資料参照（資料中黄色枠：支援会参加企業）

- ③ 支援会参加企業の状況
H20年の参加31社をピークにリーマンショック以降減少傾向にある。
H23年は23社。企業の参加メリットを考える必要があり、その一環として支援会企業の冊子を学生に配布し、企業アピールを行っている。
- ④ 支援会への入会依頼
参加企業が減ってきており、同窓会等で支援会への参加をアピールしてほしい。
(一口 ¥200,000)
- ⑤ 工学部振興基金への寄付：寄付金がほとんど集まっていない。
寄付金控除の対象にもなるので是非お願いしたい。(一口 ¥10,000)
使い道は、支援会より300万円振替、任期付き助手の手当として使用。
- ⑥ 以下質疑応答(提言)事項
- 1) 支援金と基金について
- ・振興基金協力への活動はないのか：国領副会長
基金独自への協力は少なく支援会から基金に回しているのが現状：安田教授
 - ・申込みはどうするのか：林副会長
支援会冊子に申込用紙を添付しているのでそれを利用：安田教授
 - ・各人が同窓会(クラス会)開催時に支援会、基金の説明をして支援をアピールしてはどうか：林副会長
 - ・支援会への参加を促す為、学校より卒業生がいる会社へアピールしてはどうか：立入会長
支援会入会へのハードルは高い：菊池教授
 - ・県立大学は支援会への取り組みが後発なので、いまの景気では新たな入会勧誘は困難。
 - ・企業メリットを考えれば、研究テーマでひきつけては。
 - ・短大卒が事業をしている会社を狙っては。
 - ・むやみに訪問するよりも動きの出来る立場の人が必要。
 - ・世の中の状況(経費節減)では、入会勧誘には何か工夫が必要。
- 2) 就職関係について
- ・OBとの定期的交流会はやっているのか：林会長
支援会事業報告のように行っているが組織立っていない：安田教授
 - ・企業としては若手社員の後輩に、優秀な人材(学生)の発掘を求めているところもある。：国領副会長
 - ・企業に対し学生のアピールを(学校より)早めにした方が良い：長谷理事
 - ・海外工場要員として、留学生を希望する企業も増えてきている：安田教授
技術流出を避けるためマザー工場は日本に残すようである。
 - ・県大卒就職先リストの整理が必要では：内片理事
企業が学生を選ぶ中で、学生側のビジョンを持ったプレゼンが必要。学生は本当に何がしたいのか整理しておくべき。
 - ・面接側として10-20分の面接では良く分からない。
声が大きく、元気のある学生が有利であり、結果としてこの採用方法が正解している：林副会長
 - ・学校を知ってもらう為には、展示会でのブースを利用したり、インターンシップを利用して、相互の良さを深めて行くことが必要。
大学側からのアプローチをもっと強くして、特に地元への地固めが必要。
現状：卒業生の1/3程度県内に就職

3) 中小企業への見方について

- 大学は中小企業をどう見ているのか(資本金：数千万、従業員：20-30人)
：吉田理事
何か光るもの(開発力、技術力)があれば推薦している。：安田教授
- 学生は、以前なかなか見向きもしなかった。
将来像、首切り、福利厚生に不安があった為である。：安田教授

<<昼食・懇談>>

4、「工学部学友会」の事業内容(活動方針)について

① 会員と湖風会及び県大工学部との連携について・・・松下理事

- 湖風会関連報告：H23年度活動実績参照

湖風会名簿管理

対象 22,982 名に対し「湖風会報」を発送確認：確認済 19,110 名、住所不明者 3,872 名

湖風会館：全体 854 m²、建物 174 m²、建設着工 H24 年、完工 H25 年 2 月
湖風会分担金：4,250 万円 寄付を募集予定(一時的に積立金より)

- 平成 23 年度「彦機会」より湖風会助成金の申請について

要求金額：¥110,000 の予定

湖風会の入出金：H23 年度は、入：約 500 万円、出：約 520 万円

- 湖風会の役員会への挨拶(活動計画の説明)

「工学部学友会」活動計画を会長、副会長より説明・・・2 月 18 日予定

② 同好会活動について・・・各世話役

詳細は H23 年活動実績、H24 年活動計画を参照

- ゴルフ同好会：立入会長

H23 年：6/11 札幌 功 GC で実施

H24 年：6/02、12/01 札幌 功 GC 予定

- ウォーキング&小旅行同好会：国領副会長

H23 年：5/10 湖南三山&甲賀で実施

H24 年：5/10 奈良予定

- フォト同好会：山添理事

H23 年：総会の準備に伴い未実施

H24 年：9/30 に予定(参加者が少ない為、奮って参加してほしいとのこと)

- カラオケ愛好会：西澤顧問(但し午後退席)

H23 年：12/11 「パナソニックリゾート大阪」で実施

- テニス同好会(湖風会テニスの集い)：林副会長

H23 年：未実施

H24 年：10/20~21,27~28 のいずれかの予定

③ 名簿管理について・・・国領副会長

- 1/24 日の名簿管理チーム打ち合わせの記録、資料を基に説明

- クラス会を掘り起こしていきたい。

- 卒業は年度卒が良いのではないかについて、今まで卒年表示の為、今後も卒年表示を継続。

- 県立大卒生は各研究室が持っている名簿を利用されてはどうか：安田教授

- 湖風会名簿管理の会合：松下理事

H24 年予定：4/07、7/07,10/06、2/02 日の予定

④ 「工学部学友会」のHPについて・・・山添 詳細配布資料参照

- 「彦機会」HPを「工学部学友会」HPに編集し直して、2 月 2 日に公開した。

メールのある方には、すでに連絡済みでみられているが、ない方を含めて再度ミニノート PC で HP 画面をみて簡単に説明があった。この「工学部学友会」HP については、特に問題もなく了承された。

- HP の体制として
名称として「HP 委員会」、「HP 部会」、「HP 管理担当」の案があるが、推進担当に一任とした。 リーダー：山添理事、メンバー(3名)：松下副会長/国領副会長/藤浪理事とし、新たに事務局(藤浪理事)にも担当(議事録のアップなど)してもらうこととした。
 - ドメインの取得：「彦機会」のドメイン「h-genkikai.com」を変更する必要がある。新しいドメイン名としては、「k-gakuyukai.net」「gakuyukai.net」等の案があるが、時期を見て変更するものとし、推進担当に一任とした。
 - 各同好会の案内を学友会 HP に載せてほしいとの発言については、すでに毎回掲載しており、今後も継続していくとした。この同好会は湖風会の組織に組み入れられているので、「湖風会」HP にも案内を掲載してもらう必要がある。(「湖風会」HP 小委員会に申し入れて検討する。)
- ⑤ 県大工学部の活動支援について・・・立入会長
- 会社訪問：7 月キャノンマシナリー予定、10-11 月予定していた森精機訪問は来年に延期。
 - 支援会、振興基金：現役の人から会社を紹介してもらい訪問するなど、これからの取り組みについて、打ち合わせを始めて行きたい。
- ⑥ 事務局からの連絡
- 「工学部学友会」会計処理
学友会口座開設：手続きが大変だが郵便局で開設：藤田理事
登録印章：藤田理事提示サンプル通りで問題無し。
 - 「彦機会」活動費で立替え金があれば、3 月末迄に申し出てほしい：藤田理事
 - 理事会開催場所及び平成 24 年度理事会日程について
H24 年度の活動計画表の通りする。
 - 連絡網について「工学部学友会」役員連絡網で説明：国領副会長
県大工学部窓口：安田教授、「工学部学友会」窓口：国領副会長
 - H23 年 12 月 23 日開催の忘年会の会計報告
会費徴収：@4,000 x 11 名 = 44,000 円、パナソニックリゾート支払い：47,134 円、差額 3,134 円については「彦機会」会計から補填した。
尚、カラオケ大会の費用約 7 千円は、カラオケ愛好会の支援金から出費した。
- ⑦ トピックス
- 長年続いた「彦機会」幹事会全 71 回は、今回を持って閉会となった。
 - 安田教授が 1 / 1 日付で准教授から教授に昇進された。
出席者全員で「おめでとう御座います」とお礼を申し上げた。
 - 田頭顧問よりおいしい伊予のハッサク、ネーブルの差し入れがあった。
- ⑧ 次回理事会(時間及び会場は後日、事務局より連絡)
- 日時：4/15(日)午後～
 - 会場：ザ・草津タワーコンシェルジュ集会場